

# Piece 新聞

東部総体編

平成29年6月27日

生徒会執行部発行

6月1日から運動部では大きな大会がありました。3年生が引退してしまった部活も県総体の切符をつかんだ部活もありますが、様々な思いがありました。そこで大会が終わった今部長の思いを綴ってもらいました。

## サッカー部（常田 将貴）

今回の東部総体では無事県総体に行くことが出来ました。しかし3位決定戦ではチャンスをものにすることが出来なかった場面が多く4位という結果でした。県総体では最後まであきらめずに自分たちのプレーをしてきたいと思います。

## 陸上部（保木本 能己）

今回の東部総体では1年生から3年生までが選手としても応援としても全員が参加しているような雰囲気でもと力になり、個人や総合でもとよい成績が出せました。今後もそのような習慣を続けていけたら良いと思いました。

## 野球部（池田 倫之）

「敗北」これが僕たちの結果。悔やんでも悔やみきれないことがいっぱいあったし、苦しい時も本当にあった。けどこの2文字で終わるのが本当に悔しい。1年生には強い先輩の姿を見せることが出来なかったけど自分たちで高めあっていたってほしいと思います。

## 男子ソフトテニス部（山本 大貴）

今回の結果としては団体で2位に入ることができ、個人でも4ペアが県総体に行くことが出来ました。しかしその中に入ることが出来なかった人もいます。その人たちの姿にはとても悔しいという思いがありました。だからその悔しさをまたどこかで生かしてほしいし、県総体に出場できた人はできるだけいい結果が残せると思います。

## 女子ソフトテニス部（坂田 茉優）

この大会は部員自身の節目でありチームとして大きな節目となりました。結果は満足のいくものではありませんでしたが、1人が技術や精神面などから様々なことを学び、これから先やるべきことに向け、前進していけると信じています。

## 男子バスケットボール部（原田 芳誠）

僕たち男子バスケット部は結果から言うとも県大会出場はできませんでした。しかし一回戦でベスト8のチームに勝つことが出来ました。これはチームが一丸となったからこそ得られた勝利だと思います。バスケット部は個性が強くまとめるのは大変でしたがその分部活に一生懸命取り組みたいと思います。関わってくださった方々、本当にありがとうございました。

## 女子バスケットボール部（奥田 舞香）

私たちは東部総体で改めて諦めないことの大切さを感じました。私たちは人の応援もあり、最後まで頑張れたと思うので応援して下さい。下さった方々に感謝したいです。

## 女子バレー部（松尾 紗夏）

東部総体では支えてくださった方々、仲間に感謝の思いをもって挑みました。結果は期待に応えることが出来なかったかもしれないけど今までで一番の笑顔で楽しくプレーすることが出来ました。これからはそれぞれ目標を決め精一杯頑張っていきます。ありがとうございます。

## 男子卓球部（原田 喜耀）

今回の東部総体で、最も強く感じたのは応援の大切さです。準決勝、自分より強い相手でその試合でチームの勝敗が決まる重要な試合でした。自分一人なら気持ちが弱くて実力の半分も出せないけど、応援でみんなの思いが伝わってきて勝つことが出来ました。チームのみんな、関わってくださった皆さんに感謝し、県総体も優勝目指して頑張ります。

## 女子卓球部（竹内 萌々子）

卓球部は人数が多く、皆が満足に練習するということは難しかったけど人数の多さを活かし、今までのどの試合よりも大きな声で応援することができました。団体戦では県総体に進むことはできませんでしたが卓球部全員で心一つにして戦えたので悔いはないし、とてもいい思い出になりました。関わってくださった皆さんに本当に感謝しています。

## 剣道部（河田 太志）

剣道部は女子個人、団体優勝、男子県大会出場という結果を残すことができました。個人でも女子8人男子2人が県総体へ出場できました。この結果は日々の練習をやり抜いたからこそだと思います。今の結果に満足せず全国、中国大会出場を目指して練習に励んでいきます。

## 新体操部（西尾 周）

今回の東部総体では団体でたくさん失敗してしまい悔しい思いをしたので、これからの大会でそんな思いをしないように練習の時から大会のつもりで通しをしたり自分たちにプレッシャーをかけたらしながら本番に強いチームになれるように頑張りたいです。

今回の東部総体では満足のいく結果になった部活もありますが、満足のいかない結果になった部活もありました。もちろん大会は勝負の世界ですから、勝ち負けがあり、結果は大切です。では結果が悪かったら何も得るものはないのでしょうか？それは違うと思います。結果はどうであれ一人一人何か成長したものはあると思います。部長の言葉の中には、今までもより応援がよくできていたというものがありました。僕はそれも大きな成長だと思っています。

今回の結果について問題点ばかり挙げるのではなく、ポジティブにも考えてみてください。そうすれば今大会での成長点が見えてくると思います。

（西江 朋洋）